

平成27年度第4回エデュカーレ in たかはし

地域における政治の役割

～理想と現実！ 政治の世界を垣間見る～

報 告 書

開催日時：平成27年11月7日(土) 13時30分～16時30分

会 場：吉備国際大学 国際交流会館

主 催：エデュカーレ in たかはし実行委員会

後 援：高梁市、高梁商工会議所青年部

協 力：吉備国際大学社会科学部 井勝研究室

吉備国際大学地域創成農学部 森野研究室

吉備国際大学外国語学部 大下（朋）研究室

1. はじめに

第4回エデューカーレ in たかはしではゲストに高梁市議会議員の皆さんを迎え、地方政治をテーマに開催しました。人口減少・都市部への人の転出が著しい中、近年は地方創生のキーワードが話題になるなど、地方政治への関心が高まっています。一方、将来の担い手である若者世代の政治離れが深刻で、選挙の投票率は年々減少傾向にあります。こうした中で、地域における政治の役割とは何かなどについて、参加者とゲストで意見交換を行うことを計画しました。

2. 実施内容

1) 全体プログラム

下記に大まかな全体プログラムをまとめました。詳細は次ページのプログラムシートを参照してください。

1. オープニング：実行委員長開会あいさつ・高梁市議会議長あいさつ
2. 自己紹介
3. グループ分け
4. アイスブレイク
5. 議員さんに聞きたい
6. 意見交換ワーク①「選挙の投票率を上げるには…」
(休憩)
7. グループ分け②：メンバー変更
8. 意見交換ワーク②「若者に政治に興味を持ってもらうには…」
9. グループ分け③：メンバー変更
10. 意見交換ワーク③「地域における政治の役割、政治に期待すること…」
11. 感想の共有
12. エンディング：閉会あいさつ

2) 参加して下さった高梁市議会議員の皆様

(あいうえお順)

石井 聡美 議員
石田 芳生 議員
石部 誠 議員
大森 一生 議員
倉野 嗣雄 議長
宮田 公人 議員
宮田 好夫 議員
森田 伸一 議員

3) プログラムシート

プログラムシート					
研修会等名称:平成27年度第4回エデュカーレ in たかはし					
タイトル:地域における政治の役割					
狙い/成果					
目的 地域の政治に関するテーマについて、参加者、政治家の皆さんで意見を交換する					
目標 ファンリテーターを中心に、和やかな意見交換の場になるよう努力する					
対象者/人数 対象者:42人が目標 市民10人、大学生22人、高校生10人			時間/場所 場所:吉備国際大学国際交流会館 時間:13:30~16:30		
	時間	狙い/目標	活動内容	進行役	場の設定と準備品
開始	13:30 (6分)	オープニング	・開始の宣言 ・実行委員長あいさつ ・高梁市議会議長あいさつ ・プログラムの説明等	的場	・椅子だけで設営 ・マイク ・CDプレーヤー
チェックイン	13:36 (24分)	自己紹介	・参加者の自己紹介 ・議員さん7人の自己紹介	井勝 (総合FT)	・全員輪になって 着席
グループ分け	14:00 (5分)	「甘い仲間たち」の手法で グループ分け	・参加者4~6人+議員1人+ FT1人の計7~8人で1グループ (人数次第で適宜変更)	井勝	・アメ
アイスブレイク	14:05 (5分)	「人間知恵の輪」	・グループ人数が5人以下の場合、 2つのグループをまとめて行う	井勝	
議員さんに 聞きたい	14:10 (10分)	議員さんに質問をし、答えてもら う	・ホワイトボードに質問をはり出す ・メンバーで項目を決め、質問する	井勝	
意見交換 ワーク①	14:20 (25分)	テーマ:選挙の投票率を上げる にはどうすれば良いと思いますか	1)意見の抽出(2分) 2)意見の発表と意見交換(18分) 3)グループ発表(各30秒、5分)	井勝・ グループ FT	・フリップボード ・記入用紙 ・ペン ・タイマー
休憩	14:45 (10分)	名刺交換等、ここで行う			
グループ メンバー変更	14:55 (2分)	「甘い仲間たち」の手法で グループメンバーを変更	・前のグループ分けと同様	井勝	・アメ
意見交換 ワーク②	14:57 (30分)	テーマ:若者に政治に興味を 持ってもらうためにはどうすれ ば良いと思いますか	1)グループ内自己紹介(3分) 2)意見の抽出(2分) 3)意見の発表と意見交換(20分) 4)グループ発表(各30秒、5分)	井勝・ グループ FT	
意見交換 ワーク③	15:27 (27分)	テーマ:地域における政治の役 割、政治に何を期待しますか	1)意見の抽出(2分) 2)意見の発表と意見交換(20分) 3)グループ発表(各30秒、5分)	井勝・ グループ FT	
感想の共有	15:54 (30分)	参加者全員で感想を 共有する	1)全員が輪になって座る 2)感想をフリップボードに記入 3)1人ずつ発表(各30秒、16分) 4)議員さんの感想(各2分、14分)	井勝	
エンディング	16:24 (5分)	アンケートを記入していただく	・終わりの挨拶 ・アンケート記入の依頼 ・次回予告	的場	・アンケート用紙 ・鉛筆等

3. 実施結果

1) オープニング

①自己紹介

高梁市議会議員の皆さんと参加者が輪になって着席した。事前に配布した用紙に、一般参加者は①氏名と②一言アピールを、議員の皆さんには①氏名、②出身地・居住地、③議会での所属委員会、④議員として重点的に取り組んでいることを記入していただき、紹介に利用していただいた。

②グループ分け

「甘い仲間たち」の手法を用いた。色の違う飴をグループファシリテーター・議員・参加者それぞれに配り、同じ色の飴を持った方どうしでグループを組んでいただいた。

③アイスブレイク

参加者の緊張を和らげるために、アイスブレイクを行った。今回は3つのグループに分かれ、「人間知恵の輪」の手法を用いた。

今回は2回行い、成功したグループ、円が2つに分かれてしまったグループなどが見受けられたが、話し合いに入る前にとっても雰囲気は和らいだ。

2) 議員さんに聞きたいワーク

あらかじめ次の質問項目を用意し、その中からグループメンバーで選んだものについて、議員に答えて頂いた。質問は下記の通りです。

- ①議員になった理由を教えてください。
- ②議員の仕事を教えてください。
- ③議員の仕事のやりがいを教えてください。
- ④市民の皆さんに期待すること、求めることは何ですか。
- ⑤今後、議員として何がしたいですか。

3) 意見交換ワーク

意見交換は3つのテーマについてフリップボードディスカッションという手法で行いました。フリップボードに残されていた意見を下記にまとめました。

テーマ①：選挙の投票率を上げるにはどうすれば良いと思いますか

- ・政治は自分の問題であると考える → 毎日の暮らし
- ・PC・スマホでも投票可能にする（マイナンバーがあればできる）
- ・学校教育
- ・主権者教育。自ら出向いていく。地域・学校・団体
- ・実際に議員さんと会話をする。交流。
- ・わかりやすい言葉で話しかける
- ・投票できる場を増やす
- ・（若者世代）学生のうちに興味を持たせる（ディベートなど）

- ・若者の意見を吸い上げる
- ・未来が見える政治
- ・学校などの教育。現場の協力。
- ・子どもの時から重要性を教える。
- ・上げるだけなら特典をつける→選挙の目的からずれている。特典があるから行くのは×
- ・呼びかけ
- ・市民と議員の意見交換
- ・身近な課題は何か、それを解決するためには誰を推すのか、仲間どうして話す。
- ・基礎から教育（おもしろい方法）

テーマ②：若者に政治に興味を持ってもらうためにはどうすれば良いと思いますか

- ・子どもの頃からの教育。自治体職員や議員が市民と一緒に夢を語る。
- ・泡沫が大量発生してもいいので、立候補の敷居を下げる（特に供託金の）
- ・議員さんと若者が交流・会話できる場を作る
- ・安心して暮らせる高梁市
- ・数年毎に若者に興味があることをアンケートし、それに合わせて広報を作る。
- ・SNS 活用
- ・学校で今以上に政治をテーマとした授業を増やす（ディベートなど）
- ・政治の授業をしてみる。自己主張の勉強をしてみる。
- ・より身近に、より分かりやすく。
- ・ゆるキャラ
- ・学校教育（小・中）、議員に若者枠を設ける。
- ・主権者教育。自ら出向いていく（地域・学校・団体）
- ・かたい印象を変える。

テーマ③：地域における政治の役割（政治に期待すること）など

- ・住民（地域や市民）のくらしを支える。
- ・公平性の担保。感情論ではない合理的なゲインの分配
- ・市民と協同で政策をする
- ・どのようなまちを作っていくのか。
- ・少数意見にも気にしてほしい。
- ・国に届かない市民一人ひとりの意見、思いを集め、それを県や国に届ける。
- ・リーダーシップ
- ・地域活性化を期待
- ・市民のために
- ・市民の意見を届ける！
- ・住民・地域の課題解決。わかりやすさ。

4)エンディング（感想の共有）

最後に、全員が感想を述べ合って終了しました。フリップボードに残されていた感想しか記載できませんが、感想は下記の通りでした。

- ・人を支える。地域を支える。
- ・政治立案のアイデアをいただいた。
- ・議員さんが身近に感じられた。
- ・交流の場が必要。
- ・みなさん議員になりましょう。未来の日本（母国）のために
- ・これからは様々な情報を知ろうと思った。
- ・若い人がしっかりしていてすごいと思った。
- ・非常に楽しかった。学生はもっと元気な声を出そう。
- ・自分事
- ・議員さんのいろんな意見を聞いてよかったし、初めて知ることができた。
- ・ギモン意識を共有仲間と話す、広げる、行動。
- ・政治の多面性

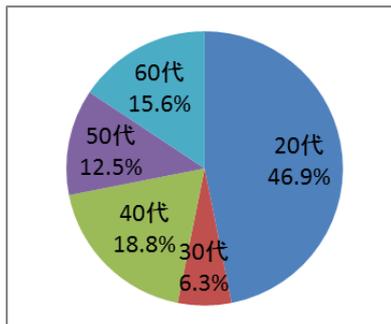
4. アンケートのまとめ

1) 参加者

参加者は、一般市民 12 名、学生 15 名、議員 8 名の 35 名。アンケートは 32 名からの回答があった。下記にアンケートの結果をまとめた。

2) アンケート回答者の年齢・性別・居住地

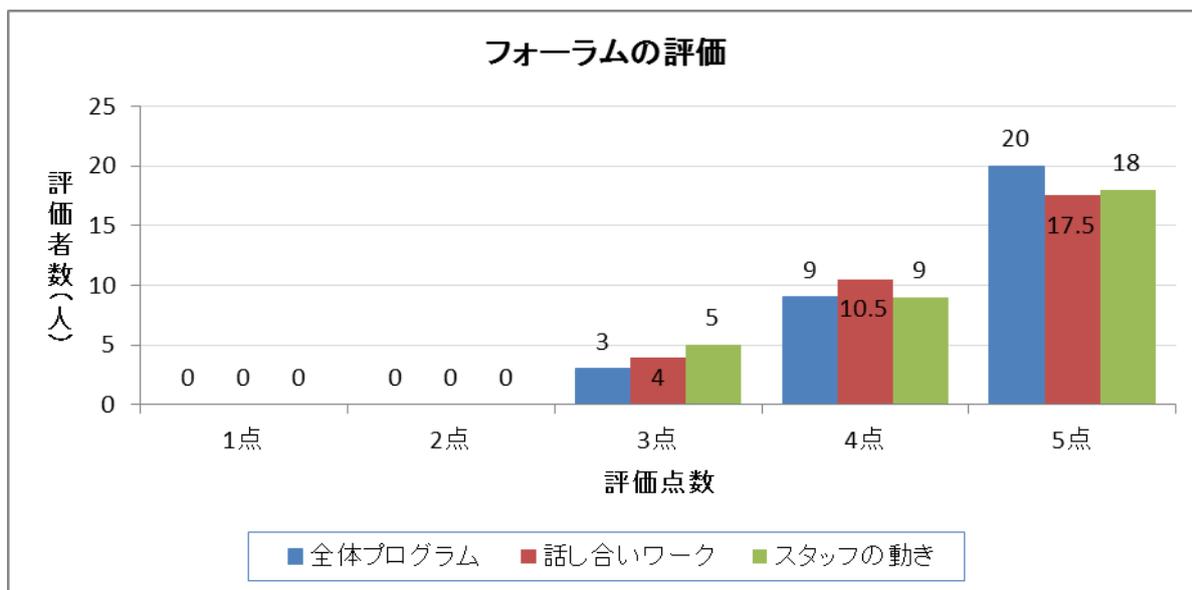
年代	人数	構成比
10代	0	0.0%
20代	15	46.9%
30代	2	6.3%
40代	6	18.8%
50代	4	12.5%
60代	5	15.6%
70代	0	0.0%
80代～	0	0.0%



性別	人数	構成比
男性	23	71.9%
女性	9	28.1%

居住地	人数	構成比
高梁市内	22	68.8%
高梁市外	10	31.3%

3) フォーラムの評価



※点数の中間に○が記入されていた場合の評価者数は、その左右の点数それぞれに 0.5 を加算しています。

4) 改善点・気になった点

①全体プログラム

- ・発表の時間を1分程度にしたらどうか。
- ・もう少し課題を発展させる工夫があったら良い。
- ・時計を置いておいた方が時間配分しやすかった。

②話し合いワーク

- ・ファシリテーターの力が必要となるが、非常に良かった。
- ・議員さんどうしの討論になってしまった。

③スタッフの動き

- ・受付の段取りをしっかりとの方が良いと思う。
- ・休憩時に学生がお菓子に寄りすぎている。

5) アンケート記載事項のまとめ

①良かった点

- ・Yes butではなく、Yes andの考え方は非常に良かった。
- ・学生の皆さんと話ができ良かったし、考え方を言ってくれたので楽しかった。
- ・沢山の意見を聞くことができた点。
- ・若い方との交流や、一般の方と意見も伺うことが出来た。
- ・議員との交流ができた点。
- ・若い人の声が聞けたこと。
- ・市民の方の考えも知れた。
- ・普段関わることのない方と話せてよかった。
- ・グランドルールを表示しておくのはよかった。
- ・内容がよかった。
- ・話しやすいテーマ設定だった。
- ・前向きな話ができた。
- ・雰囲気良かった。
- ・固くない。
- ・活発な意見交換
- ・時間配分が適切だった。(他に1)
- ・世代間交流
- ・議員さんが優しかった。
- ・もっと政治への興味を持とうと思った。
- ・少し知識がついた。
- ・政治に関心がある事を知らせてくれた事。
- ・若者の政治離れが叫ばれている中、この様なテーマでのフォーラムに積極的な、又、前向きな意見が頂け、ありがたかった。
- ・グループごとと円座になっての議論がよかった。

- ・ 席替えの方法が工夫されていてよかった。
- ・ 自分の意見を受け入れてもらえる雰囲気だった。
- ・ 参加者の人が変わるグループで話した事。
- ・ 自由・活発・前向き。
- ・ 知らなかったことを議員さんにたくさん聞いた。
- ・ 固くならず、気軽に話すことができた。
- ・ 学生さんが議員さんに親しく接することができ、とてもよかったと思う。
- ・ グラドルルールを守りながら進めたことで気持ち良く話し合いができた。
- ・ 様々な人がフラットに話し合えた点。
- ・ 全体の意見共有など、丁度いい人数規模だった。
- ・ 興味を持てる内容であった点。
- ・ 大学の学生さんと話すことで、意見が偏ることなく交換できて良かったと思う。
- ・ ディスカッションの方法が色々と理解できた。
- ・ 自分の考えを自由に話せた。
- ・ 学生さんのファシリテーターがとてもしっかりしていた。
- ・ 短時間のうちに多くの人と話し合うことができた。
- ・ 議員さんと交流でき、身近に感じられた。(他に 2)
- ・ 今までと考え方・イメージが変わった。

②悪かった点・改善点

- ・ もう少し学生は元気な声を出して失敗をおそれないで頑張ってもらいたい。
- ・ グループ意見発表の時間がちょっと短い。
- ・ 時間の制約のため、議論を発展させにくかったのでは。
- ・ 途中で時間の関係上、話が途中になった。
- ・ また機会があれば開催しましょう。
- ・ 一部言い合いが激しくなりそうだった。
- ・ 議員の人はよくしゃべる。
- ・ つめた話、具体的な課題について話すことになっても、今回のような運営ができるか？
- ・ まとめの内容が多少話し合った内容とずれていることもあった。
- ・ 特に最後のテーマはまとめるのが難しそうだった。
- ・ 事前情報がなかった。
- ・ 各グループをもう少しはなれて配置できればよかった。周りの声でよく聞こえないことがあったため。
- ・ 知識がないので難しかった。
- ・ 段取り（当日の流れ）・連携。スタッフ同士の打ち合わせが不十分。
- ・ 進行をスムーズに。
- ・ もっといろんな人の意見を聞き出せたら良かった。
- ・ もう少し、学生、社会人（市民）の参加があってもいいのではないか。(他に 2)
- ・ 市民への広報…もっと誰でも気軽に参加できるような案内文があると良かった？

③感想

- ・非常に楽しく過ごせた。次回も時間があれば参加したいと思う。
- ・本日は学生の声小さいという指摘もあったが、全体的に議員、学生、一般参加者と良い意見交換ができたと感じた。
- ・とても楽しかったし、この会を通して自分のやれることはやっていこうと思った。
- ・世代をこえて意見することで、気づき・興味・関心を持つ良いきっかけとなったと思う。
- ・貴重な体験をさせて頂いた。
- ・政治について学んだ。
- ・議員の方と話せる機会はなかなかないため、とてもいい経験だった。
- ・貴重な若者のご意見を頂き、参考になった。ありがとうございました。
- ・学生のみなさんがしっかりしていてすごいと思った。ありがとうございました。
- ・雰囲気もとても良く、話をしやすい会だった。
- ・大変よかった。再度行ってほしい。
- ・楽しく、多くのことを学ぶことが出来た。成果としてではなくとも、何らかのまとめが出来るとありがたい。
- ・いい雰囲気だった。政治・役割について色々知らないことがあった。議員から聞いたら理解しやすかった。
- ・こういうフォーラムを企画してくださり、ありがとうございました。若い人たちに政治に関心をもってもらうため、今後もイベント等を企画していただけたらと思う。
- ・2度目だが、また参加したい。
- ・思っていることを話せてよかった。
- ・これを機会にぜひ、議会とのコラボレート、委員会単位でも良いと思うので、交流させていただければと思う。
- ・エデュカーレに初めて参加したが、とても有意義な時間だった。
- ・今回のエデュカーレをして、まだまだ自分は成長していかないといけないと思った。

5. おわりに

この度はご参加くださいました皆様、高梁市議会議員の皆様に対し、厚く御礼申し上げます。

今回は地方政治をテーマに開催いたしました。普段、参加者や実行委員にとって、議員の皆様と話す機会はほとんど無かったかと思いますが、今回の開催によって、議員の皆様や地方政治を身近な存在だと感じられたのではないかと思います。また、この会をきっかけに、改めて政治についてもっと知りたい、興味を持ったという方も多いのではないかと思います。参加者・議員の皆様からは様々な貴重なご意見をいただきました。運営に関しても様々な収穫・課題がありました。その中で、「エデュカーレという会があって良かった」との声を多数頂いたことが、今後も会を開催していく実行委員一同にとって大変励みになりました。

実行委員長 荒木 佑介

6. 付録

1) ポスター・チラシ



文部科学省
地(知)の拠点
本事業は、平成25年度文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」に吉備国際大学が「だれもが役割のある生きいきした地域の創成」というテーマで採択され、支援を受けています。

政治への関心が低くなり、選挙の投票率が減少傾向にあります。また、選挙権が18歳に引き下げられましたが、若者は政治に興味を持っているのでしょうか。地域の未来を自分たちの手で作り上げるためには、若者や市民が政治に関心を持つことが大切です。
そこで、政治家の皆さんをお招きして、地域における政治の役割などについて意見交換会を開催します。

日時：平成27年**11月7日(土)**
13時30分～16時30分
(13時00分 受付開始)

会場：吉備国際大学国際交流会館
ゲスト：高梁市議会議員の皆さん
参加費：**無料** ※途中入退場可

どなたでもご参加いただけます！
中学生・高校生・大学生・若者大歓迎！



<会場>
吉備国際大学
国際交流会館2階
多目的ホール

主催：吉備国際大学
実施主体：エデュカレ in たかはし実行委員会
後援：高梁市、高梁商工会議所青年部
協力：吉備国際大学社会科学部 井勝研究室
吉備国際大学地域創成農学部 森野研究室
吉備国際大学外国語学部 太下(朋)研究室

連絡先
〒716-8508 岡山県高梁市伊賀町8
吉備国際大学 社会科学部 経営社会学科
井勝(いかつ)研究室
TEL/FAX：0866-22-9223
E-mail：ikatsu@kiui.ac.jp

平成27年度第4回エデュカレ in たかはし
地域における政治の役割
理想と現実！政治の世界を垣間見る

2) アンケート用紙

第4回 エデュカーレ in たかはし

アンケート

年 齢： 10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80以上

性 別： 男性 ・ 女性

居住地： 高梁市内 ・ 高梁市外

全体プログラム： 悪かった 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 良かった)
(改善点：)

話し合いワーク： 悪かった 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 良かった)
(改善点：)

スタッフの動き： 悪かった 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 良かった)
(気になった点：)

本日のフォーラムの良かった点をご記入下さい

1. _____

2. _____

3. _____

本日のフォーラムの悪かった点、改善点を教えて下さい。

1. _____

2. _____

3. _____

感想をご記入下さい。

ありがとうございました

3) 写真

①受付風景



②実行委員長挨拶（荒木）／司会進行（的場）



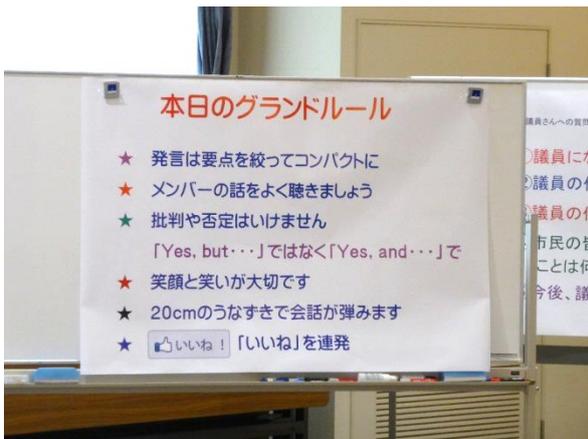
③高梁市議会倉野議長のご挨拶



④参加者・議員の自己紹介／アイスブレイク



⑤掲示されたグラドルール／意見交換テーマの一つ



⑥各グループ内で自己紹介／議員への質問



⑦意見交換ワーク／発表



⑧円になって着席し、感想の共有



⑨閉会の挨拶（荒木）



実行委員名簿

◇実行委員長

荒木 佑介 (社会科学部 経営社会学科 3年)

◇副実行委員長

楊 涵 (社会科学部 経営社会学科 3年)

韓 贊熙 (社会科学部 経営社会学科 2年)

◇実行委員

板垣 拓哉 (社会科学部 経営社会学科 3年)

高山 眞紀子 (社会科学部 経営社会学科 3年)

蔣 雋二 (社会科学部 経営社会学科 3年)

枝光 広斗 (社会科学部 経営社会学科 2年)

大川 朱理 (社会科学部 経営社会学科 2年)

中谷 雅尚 (社会科学部 経営社会学科 2年)

的場 美希 (社会科学部 経営社会学科 2年)

行森 俊紀 (社会科学部 経営社会学科 2年)

連絡先

〒716-8508 岡山県高梁市伊賀町

吉備国際大学 社会科学部 経営社会学科

井勝 (いかつ) 研究室

TEL/FAX:0866-22-9223

E-mail:ikatsu@kiui.ac.jp

